



334複合地区スローガン
「We Serve」
前向き思考で真の奉仕と大きな感動

334-B地区スローガン
「友愛と奉仕で築け 人々の幸せ」
～ 原点回帰 ～

岐阜西ライオンズクラブスローガン
おもいやり、あたたかい心で奉仕の輪

2019年 6月 第一例会 895回
6月11日(火) 於 ホテルグランヴェール岐山 12:15～

例会プログラム

第895回 通常例会

| | | |
|----------------|-----------------|---------|
| 「例会」 | 司会 | L.篠田 |
| 1 開会ゴング | 会長 | L.広瀬(恵) |
| 2 国歌斉唱 | | |
| | 並びにライオンズクラブの歌合唱 | |
| 3 ゲスト及びビジターの紹介 | | L.山田 |
| 4 慶祝行事(誕生祝) | | L.広瀬(恵) |
| 5 アワードの伝達 | | L.広瀬(恵) |
| 6 会長挨拶 | | L.広瀬(恵) |

< 食 事 >

| | | |
|--------------|--------|---------|
| 7 幹事報告 | | L.河野 |
| 8 各委員会報告 | | |
| 9 テールツイスター登場 | TT | L.後藤(さ) |
| 10 出席報告 | 出席大会委員 | L.廣瀬(哲) |
| 11 会計報告 | 会計 | L.伊藤(正) |
| 12 閉会ゴング | | L.広瀬(恵) |

会長・幹事報告

第895回 幹事報告

1. <第65回334複合地区代議員総会決議事項>
次年度334複合地区スローガン
『“We Serve”心を合わせ多様な奉仕』
2. 第65回334-B地区年次大会で決議されました「334-B地区緊急援助資金を会員1名につき(家族会員除く)1,000円徴収する」件につきまして、第3ゾーン緊急災害積立金から44名分の44,000円を送金致しました。
3. 6月4日(火)準備理事会がホテルグランヴェール岐山に於いて開催され、次期理事、委員長15名が出席致しました。
4. 6月12日(水)次期YCE委員長会議が四日市都ホテルに於いて開催され、次期YCE委員長L.寺田が出席致します。
5. 第58回OSEALフォーラム(広島)参加登録開始のご案内がきました。次年度の開催ですが、早期登録の期間が6月からということで、詳細を配布させていただきました。

❖第58回OSEALフォーラムホームページ:
<http://oseal2019.jp/ja/>

会計報告

| | | | |
|---------|-----|----|---------|
| ドネーション | 7人 | 金額 | 35,000円 |
| ファイン | 10人 | 金額 | 53,000円 |
| Boxファイン | | 金額 | 円 |
| 合計 | 17人 | 金額 | 88,000円 |

出席報告

| | |
|-----|-------|
| 会員数 | 44人 |
| 出席数 | 38人 |
| 出席率 | 86.3% |

次回例会案内

日時: 6月25日(火)18:00から
場所: ホテルグランヴェール岐山
例会名: フィナーレ例会

慶祝行事

誕生祝 11日 L.井ノ浦 健 14日 L.伊藤 正樹
28日 L.志智 慈朗 30日 L.和田 淳

会長挨拶

会長挨拶

本日は梅雨の中休みでさわやかな日になりました。皆さん元気に例会出席ありがとうございます。5月26日(日)に334複合地区年次大会が行われ、次期会長のL追立と共に富山まで出かけました。11時受付でしたので、前日出発し、終始色々な話をしながら充実した時を過ごしました。夜は富山の美味しい魚と美味しいお酒も頂き、とても満足しました。帰りの電車では、元国際会長のL山田實紘と乗り合わせましたが、残念ながらお声をかけることはできませんでした。ともあれ、無事に代議員投票を終了し、ようやくホッとしております。早いもので、残すところ2回の例会となり、次回フィナーレを迎えます。

最後になりましたが、体調不良で入院しておられたL川瀬から退会届が出されました。短い期間でしたが、皆様大変にお世話になりましたと御伝え下さいとのことです。

会 長 L.広瀬 恵子

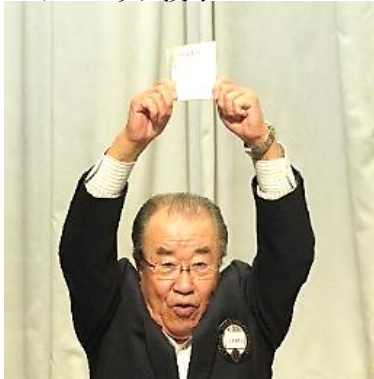


特別記事

アワードの伝達

2017-2018年度
100周年記念奉仕チャレンジ、コミュニティ・レガシー・プロジェクト バナーパッチ授与

2017-2018年度
会長
L.山田敏夫
おめでとうございます！



100周年記念会員増強賞
(左から)L.杉野正次郎、L.岩田直美、L.棚橋孝幸
おめでとうございます！

結婚祝



11日 L.井ノ浦 健 14日 L.伊藤 正樹
28日 L.志智 慈朗 30日 L.和田 淳

第65回334複合地区年次大会

5月26日(日)第65回334複合地区年次大会が、富山県高岡市オーバードホール於いて開催され、会長L.広瀬(恵)、次期会長L.追立の2名が代議員として参加致しました。

<第65回334複合地区代議員総会決議事項>
次年度334複合地区スローガン
『“We Serve”心を合わせ多様な奉仕』



今年度役員「一年の活動を振り返って」



＜会長 L広瀬恵子＞

昨年の7月会長就任から始まり、小柄な存在感のない女の私に務まるかという思いを胸に抱き、例会前には会長挨拶の文章を考えパソコンで文字をおこし、

訂正しては何度も読み直し、それでも自信がなく本番はメモを読むのが精いっぱいでした。

ガバナー諮問委員会や会長幹事会では、原稿の用意なしで突然マイクを振られることも度々あり、大変に焦りました。そんな中でも、会長に任命されたからこそ学べる事や、緊張感も多く、大変に勉強になりました。アクティビティでは、前年度の受け継ぎをこなすことしかできませんでした。寄付金、LCIF献金、会員増強もとても大切な事業だと理解していましたが、メンバーが減少している中、限られた予算で労力を使うなど、様々な方法を考えていく中で一つにまとまり、ボランティアに対する達成感も得られる本当のアクティビティが出来るのではないかと感じております。幹事L河野、会計L伊藤、計画委員長L篠田をはじめメンバーの皆様の御協力に大変感謝しております。一年間ありがとうございました。



＜会計 L伊藤正樹＞

一年間を通して会計として思うのは、会員減少に伴い予算の見直しが必要になり、会計としては具体的な打開策を見いだせなかったのですが、各委員長が予算に対して非常に前向きで、各事業等で節約に心がけていただき、なんとか無事に来期に繰越しができそうです。

また、LCIFBOX献金に関しても、会員皆様に多大なるご協力いただき、年間を通して目標を達成することができました。ありがとうございました。

最後に、毎回の例会にしっかりと出席が出来なかったことを反省点とし、前会計のL大橋に助けをいただき感謝申し上げます。



＜プログラムコーディネーター/

計画委員長 L篠田浩之＞

2018年度の計画委員会は例年とは違った趣旨の例会も行いたいとの会長の意向があり、様々な催しを含めた例会を企画いたしました。

例年とは違ったことを行うということは、アイデア含めてイレギュラーなことを予見し対応出来るように画策していかなければという部分で、工夫を加えながら委員会メンバーのご協力もあり非常に満足できたものとなりました。後半は委員会メンバーが私を含め、病欠にて非常に危機状況になりましたが理事会メンバーや委員会メンバーの助力により無事に終えられそうです。

新しいことを行うということは、やはり相当の準備期間も必要でやっつけ仕事であればいいのですが、やはりやるからには記憶に残り、将来にその場面に出会った際に思い出せるようなものであるのが例会の意義ではないかと思えます。皆様の多くのご協力をいただきまして本年度の計画委員会は無事にすべての例会を全うできたかと思えます。本当にありがとうございました。



＜幹事 L河野秀明＞

この一年間、会員の皆様には、クラブ運営やアクティビティ等ご理解、ご支援を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。この一年を振り返る中で、残念であったのは大変

多くの退会者が出てしまったこととあります。中でもL青木のご逝去や長年皆出席されていたL棚橋の退会は大変残念なことでした。会員増強の必要性は理解していますが、会員の皆様がいかに生き生きと活動し、楽しく例会に参加していただけるか、クラブ運営の大切さに気づかされた一年でありました。また、今年度は地区ガバナーを同じゾーンから輩出されたことから、苦しいクラブ運営となりましたが、会員皆様の温かいご協力の元、無事乗り越えてこられたのは、岐阜西ライオンズクラブ会員相互の思いやりの心の表れであると大変うれしく思いました。

最後に、今年度は当クラブ初の女性会長が誕生するということで、私のようなものが幹事としてお支えできるかどうか心配しておりましたが、会長はじめ理事会メンバーの皆様にご指導、ご協力賜り、なんとか無事に幹事の職務を終えることができましたこと感謝申し上げます。



＜前会長 L山田敏夫＞

最近の社会風潮は、「自分さえ良ければよい」という流れの中で、尊い浄財を高額な会費としてお支払いいただき、社会的弱者に少しでも夢のある生活をしていただき

たいと願う岐阜西ライオンズクラブの会員の活動の真剣な取り組みに感銘し嬉しく思っております。そこで視点を変えて、私が日ごろの生活において仕事を含めモットーとしている人生観をご披露させていただきます。

私は元来国家公務員で国税庁の職員でありました。私が退職する年の4月2日現在で58歳の者が後輩に道を譲るということで退職勧奨が行われました。以来、本年まで18年を経過致しましたが、私が日ごろから心がけていることは、「悲しい時は、これをバネにして喜びに替える努力を惜しまず」「苦しい時はやがて陽の当たる日が到来することを願って、男の背中を磨く」「泣きたい時は酒でも飲んで思い切り泣いて」「嬉しい時はその日だけでも感謝を忘れず、何事も初心と基本を大切に」であります。

今年は喜寿を過ぎましたが、健康である限り酒でも飲んで思い切り泣いて男の背中を磨きたいと願っております。



＜市民教育・社会福祉委員長

L大橋良広＞

本年度は市民教育・社会福祉委員長を務めさせてさせて頂きました。鶴飼観覧のタベは全員アクトということで、会員の皆様のご協力のおかげで、参加して

頂いた方にも大変喜んで頂くことが出来ました。また、恵光祭、オンリーワンわたしたちの芸術祭においては会長のL広瀬恵子と参加をさせて頂き、ノーマライゼーションに関して理解を深めることができ、また障害のある方の芸術活動に直接触れることができ、貴重な体験が出来ました。何かといたらない委員長でしたが、委員の方、会員の皆様のご指導のもと、一年間務めあげることが出来ました。有難うございました。



＜出席大会委員長 L広瀬真人＞

本年度は出席大会委員長を務めさせて頂きました。例会においては、委員のL.廣瀬哲夫、L.熊澤光男、L.寺田稔には役割をしっかりと守って頂き、分担して無事に

24回の例会の受付を行うことが出来ました。また、事業においても出欠確認など皆様のご協力頂き有難うございました。一年間委員長の大役を務めるあげることが出来ました。この場を借りて御礼申し上げます。有難うございました。



＜テールツイスター L後藤さとみ＞

本年度テールツイスターという大役を仰せつかりました。岐阜西ライオンズクラブに入会させて頂き、ライオンズクラブの内容も周知していない現状の中、少しでも勉強ができる機会を頂き、私にとりまして大変意義のある事でした。

クラブ運営の為に多くのドネーション・ファインを集めさせて頂く役割の中、皆様に多大なるご協力を頂いたことは、非常に嬉しく有りがたい事でした。皆様には心より感謝申し上げます。今後において、諸先輩方が今まで築いてこられました歴史を大切に受け継ぎつつ、さらに地域社会に温かい心で思いやりの輪を広げるべく、前向きに自発的な気持ちで地域社会の期待に応えていけるよう会員の皆様と共に積極的に協力し取り組んでいきたいと思ひます。



＜ライオンテマー L三林浩行＞

抜けないようにと気をつけながら活動しつつも、時折それが出てしまったのをいるんな方に助けられ、なんとか事なきを得たような次第です。そのようにして1年の活動を終えられました。皆さんありがとうございました。

＜地区GLT委員長 L水田 誠＞



本年度GLT委員長を拝命しGLT委員会の役割が良く判らず、先輩諸氏にお伺いご指導を得て、GLT委員会は会員のレベルアップを図り、これからのリーダーシップをとれる会員の育成し、結果として

会員のドロップ防止を目指していく事と理解しました。委員会として、各クラブが新会員に対しての取り組み方や入会後のフォローの仕方などの動向調査アンケートを行い、その結果、クラブや地域によって大きな差があることが判り、各クラブにおいては、その違いを認識し、其々のクラブの個性を出していただける様な姿が好ましいと感じました。また、会員の皆様が自クラブ活動以外に、国際協会の活動を少しでも知っていただき、ご自分がその一員でもあることを理解し、活動に協力できることを解っていただく事が、会員のライオンズに対する愛着や自己のレベルアップに繋がり、結果としてドロップ防止に繋がるのではないかと、世界のライオンズ活動をDVDにまとめ配布させていただきました。DVDは今年度に限らず機会あるごとにクラブ内でご利用ください。会員の皆様のご期待に添えることが出来ましたかどうかわかりませんが、一年間多大なるご支援ご協力いただき有難うございました。



＜環境保全委員長 L和田 淳＞

ライオンズ歴も5年になり、今年是一年理事も務めさせて頂きました。クラブの運営や活動もようやく楽しくなりました。来年度も頑張ります。



＜青少年健全育成委員長
L森田勝也＞

始まり頃3名の委員会メンバーがいましたが、8月にメンバー一人他界され、その後3名で活動を行うことになりました。

まず、薬物乱用防止出前講座については、前年度より引き継ぎ時から、前年度と同様の箇所がありますと聞いておりました。今期 三か所の学校で行いました。自分あまりよく解っておらず、成り行きのまま進めてしまい、講座への委員会やメンバーの参加を即すなど、もう少し委員会としてお手伝いが出来たらよかったと反省しております。フットサル大会については、フットサル協会の方々も事前に打ち合わせもでき、メンバーへの告知も早くから行え、たくさんメンバーの皆様に参加していただきました。大会自体盛大に行えたと思ひます。



＜マーケティング
コミュニケーション委員長
L西本正敏＞

PR委員長を拝命して早一年、時間の過ぎる速さは年齢に比例して加速していきます。

とかく動作の速い方々は、「ウォー」の後にすぐ腕を降ろされるので写真がボケる、顔が写らない等、なかなか苦労致しました。クラブ内でのPR活動は従来通りでしたが、当初はホームページなど対外的にもっとアピールをしたいと考えておりました。アクトの新聞掲載もございましたが、やはり一燈照隅万燈照国の言葉通り、少しずつ岐阜西ライオンズとは何かを周りの人々に伝えていく事が大事だと感じます。

来期もこの経験を活かして、会の運営に微力ながら尽力していきます。皆様ご協力ありがとうございました。



＜地区アラート・MC・
地区誌副委員長 L志智慈朗＞

今期のキャビネット役員、アラート委員長を拝命し、しかも就任早々に、西日本豪雨災害、北海道の胆振東部地震と連続して災害に見舞われ、緊張感を保ちながらの日々を過ごしました。

キャビネットには災害支援の申し込みがいくつかのクラブから届き、熱いクラブ、静かなクラブとクラブ毎の温度差は勉強になりました。アラート活動にはキャビネット幹事の支持を仰ぐという点には、迅速な行動に移れなかった反省があります。しかし、支援金の金額については、成程という思いをしました。更にCBのHPにアラートのバナーを作って頂いたIT担当委員のL.池田の活躍には頭の下がる思いでした。彼の活躍のお陰で、地区内すべてのクラブにHPが立ち上がりました。今後の継続展開に注目したいところです。最後に所属がIT委員会ということで、各クラブの報告事情などがよくわかり、クラブ幹事経験者としての責務の大きさを反省を交えながら感じました。